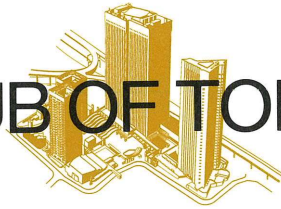




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: MANKIND IS OUR BUSINESS

「ロータリー：人類が私たちの仕事」

2001～2002年度・国際ロータリーテーマ／リチャード D. キング会長

「ロータリーの心を伝えよう—家庭に、職場に、地域に—」

2001～2002年度・東京新南ロータリークラブテーマ／大日方 真会長

本日の例会 7月13日 第709回例会

卓 話

「スペシャルオリンピックスと私」

スペシャルオリンピックス日本

会長 細川佳良子氏

(細川元首相夫人)

先週報告 7月6日 第708回例会

◎「就任のご挨拶」 会 長 大日方 真君
副会長 谷村 義雄君
幹 事 新保 國彦君

◎ 会長報告

①岸義武新会員の紹介。

本年度より、新会員には会長から認証状が手渡され、奥様にはバラが送られることになりました。

②前会長、副会長、幹事に1年間の労をねぎらって記念品を贈呈しました。

③地区役員委員委嘱状を伝達しました。

地区諮問委員 田辺 賢三君

地区米山選考委員 渡部 一元君

◎ 幹事報告

7/15～9/15まで全日空ホテルB1改装工事の為「八雲の間」は使用出来ません。

例会場は7/27、8/3、8/24、9/14→3F「ローズルーム」、8/10、8/31→36F「シリウス」に変更します。

ご注意ください。

◎ 慶事披露

誕生日祝い 岩上義明君(7月9日)、
西澤正雄君・大日方真君(7月12日)

◎ 出席報告 会員69名・出席47名・欠席22名(出席規定免除者6名)
ビジター2名、ゲスト1名(宮武保義さん)

次週予告 7月27日 第710回例会

(7月20日は休会)

イニシエーションスピーチ

「1986年の思い出」

全日空エンタプライズ株式会社 顧問 市川 徹君
当クラブ会員

[例会場/ローズルーム (3F)]

新会員の紹介 (2001年7月6日入会)

キシ ヨシ タケ

岸 義 武 君

生年月日 1963年8月5日

職業分類 駐車場

事業所名 フジマル工業株式会社

役 職 取締役

所在地 〒154-0016 世田谷区弦巻4-21-23

T E L 3426-5112 F A X 3426-5113

自宅住所 〒195-0074 町田市山崎町1380番CIハイヅJ-1104

T E L 042-794-0458

推薦者 加藤 昌明君、馬場 一廣君



7月6日/29件92,000円

2001～2002年度累計92,000円

多額の御寄付を有難うございました。

宮武保義(会友)/皆様ごさたしました。七夕星の心境です。大日方真/一年間よろしくお願いしします。お誕生日のお祝いありがとうございます。多謝。新保國彦/新年度がスタートしました。ご迷惑をかけると思いますがよろしくお願い申し上げます。山下忠治/大日方会長、谷村副会長、新保幹事、一年間ご苦労さまです。岸義武/本日入会いたします。宜しくお願いいたします。馬場一廣/岸さんの入会を記念して。渡部一元・柴本芳郎・小淵雅亮・吉田用親・尾関武男・横山秀明・荒木昭文・青野信次・入沢頼二・村山公士・河原勢男/新年度の会長、副会長、幹事、理事、役員の皆さん、1年間宜しくお願いいたします。岩上義明/7月9日で49才になります。本日はありがとうございます。小杉修造/新年度よろしくお願い致します。岩瀬秀郎/新年度になりました。宜しくお願い致します。清原元輔/本年度第一回の火曜会には多数の皆様がご参加下さいましてありがとうございました。四分一勝/マドリッド在住の二男に孫が誕生しました。今年度もよろしく。加藤・金光・青野/尾関さん、先日は大変ありがとうございました。石井謙次/先週の打ち上げ会には多数の御出席頂きまして有りがとうございました。柴田陽三/先週の夜間例会に出席出来ず申し訳ありませんでした。坂口恒雄/大リーグオールスター戦は1933年シカゴでハッペルの球をパイプルーが打つ夢の対決で生まれました。イチロー、大魔神は立派な今年度の特別ボールハリス賞です。土屋東一/新年度、西沢さん早々のニコニコご苦労さまです。福島賢哉/河原先生先日はお世話になりました。新年度西沢SAA頼りにしています。西澤正雄/新年度初回のニコニコ、多数のご協力有難うございました。その上、お誕生日まで頂き有難うございました。

(紙面の都合でコメントを一部纏めさせて頂きました。)

7月定例理事会議事録

日時 2001年7月6日例会後 13:40～15:00
場所 東京全日空ホテル 1F孔雀の間
出席者 大日方、谷村、青野、清原、村山、島田、吉田(用)、
山下、入沢、西澤、新保 (順不同・敬称略)

決議事項

1. 2001～2002年度行事計画を承認。
2. 2001～2002年度委員会構成を承認。
3. 忘年家族会費(会員会費25,000円)と地区大会登録料(3,000円)を出欠に拘わらず上期会費と併せて請求することを承認。
4. 15周年記念行事実行委員会構成を承認。
5. 委員会活動を次の通り承認。
SAA 例会場の設営と運営
親睦活動委員会 ①新会員歓迎会 10月12日開催
②新会員のご家族へ花を贈る件

報告事項

1. 2000～2001年度決算報告
村山 2000～2001年度会計
2. 会長報告 ①例会場の国旗掲揚について
②2001～2002年度RI会長賞について
3. 幹事報告
①新会員・岸義武君のカウンセラーに加藤昌明君を指名。
②ガバナー公式訪問・東京南RCとの合同例会
[9/6(木) 例会場/東京會館]の件

7月火曜会報告

『参加して話して見よう火曜会』を年間テーマに、本年度第1回の火曜会が7月3日「アストラル」で開催されました。

大日方新会長の挨拶の後、今回は「何でも話そう火曜会」ということで、清原親睦委員長の司会で12名の方々の自薦・他薦のスピーチが続きました。何でも話そうということで、戦争体験から女性問題?まで、硬軟ごちゃ混ぜで、そこには何の脈絡もない(美味しい酒肴のせい?)ようにも思えました。

しかしながら、スピーカーの当意即妙さに加えタイミン
グのよい合いの手も入り、ミスター火曜会が欠席だった
ことを除けば、時間のたつのも忘れる楽しい2時間でした。

(横山 記)

出席者20名(順不同・敬称略):高須、谷村、小杉(眞)、加藤、
梶内、庄司、吉岡、新保、圓谷、荒木、大日方、清原、青野、
山根、早川、岩瀬、福島、岩上、石井、横山

お知らせ

本年度、『ガバナー月信』は第2750地区のホームページ
にアクセスして頂き、各自ご覧頂くことになりました。第
2750地区のホームページは下記の通りです。既に『ガバ
ナー月信』7月号は公開されております。是非ご覧下さい。

<http://www.ri2750.org>

会員役職変更・連絡先変更

斉藤 茂之君/(学)東放学園 学園長に就任
小杉 眞史君/(株)富士通ビジネスシステム 顧問に就任
金光 圭一君/連絡先はご自宅

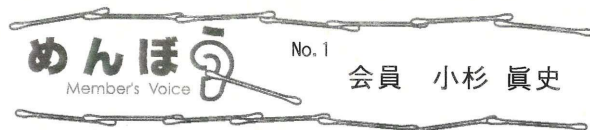
TEL・FAX (3711) 1679

東京新南ロータリークラブ

〔会長〕大日方真 〔副会長〕谷村義雄 〔幹事〕新保國彦

〔会報委員長〕小杉眞史 〔今週の担当〕本嶋公民

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL:03-3505-5976 FAX:03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL:03-3505-1111



会員 小杉 眞史

「IT基本法」(高度情報通信ネットワーク社会形成基本法)

最近、特にITに関するマスコミ報道が多くなってき
ました。国民的人気の高い小泉内閣もメールマガジンを発行
して、国民の声を政治に反映する施策を取っております。
又ロータリーの世界でもホームページを持つクラブも増え
メール交換も当たり前になってきました。世の中すべてイン
ターネットの時代がもうそこまで来ております。

そんな中で、IT基本法が今年の1月6日に施行されまし
た。急逝された小淵内閣時に提唱され、不人気の森内閣で施
行され、小泉内閣の隠れた目玉とも言われています。今日は
その「IT基本法」についてお話します。一言でいえば「日
本がIT革命をどうやって起こし、そこで何をを目指すか」と
言う事で政府がIT立国を掲げ日本経済の再生を図る為、最
大の力点をおいて制定された法律です。(第1章～第4章 第
35条迄有ります。)大きく4つの意義が有ります。

第一は日本を5年後にはアメリカを追い抜く大容量の高
速通信社会(IT社会)にすることです。その為に日本全
国に光ファイバー網を構築し、IPv6という新しいイン
ターネットプロトコルを導入します。第二は人材の育成、IT
教育です。IT社会の主役は国民ですからITに馴染む
よう小中学校から大学迄の学校教育や成人の生涯教育の場
で様々なIT教育が受けられます。第三は電子商取引を促
進する為、2002年迄に規制緩和を行う事や法律を作る事。
更にセキュリティや犯罪防止のシステムを構築する事です。
第四は電子政府の確立です。行政サービスのIT化、効率
化を始め、電子自治体の実現を目指し、住民サービスの向
上を図ります。

以上の意義に基づき総理大臣を本部長とした推進戦略本部
を設置し、e-JAPAN重点計画を実行していく訳です。
国が「器づくり」(インフラ)を支援し、「中身づくり」(コンテ
ンツ)の主役は国民であると言う事が原則になっております。

IT社会とはインターネット等の高度情報通信ネットワ
ークにより国民の誰もが様々な情報を入手し、共有し、又
発信する為に自由で安全に且つ安価に利用できる環境を整
え創造的で活力ある社会を意味しますが、世界レベルで見
ると日本はまだ遅れを取っています。

「IT基本法」の施行により、具体的にe-JAPAN重
点計画が実行されて、急速に我々の生活環境、社会環境も
変わって来ると同時に世界水準に達します。

さて、当クラブでも「私はITが苦手」と言う方も心配
はありません。何故なら今、誰もが同じスタートラインに
立っているからです。幸いに事務局のパソコンもインター
ネットに接続しております。eメールも会員間で普及して
きました。当クラブのホームページも立ち上がるのは間近
です。15周年を機に、全会員のeメール参加(挑戦)をし
てはいかがでしょうか!

先週の週報にて案内しましたように、全会員より投稿を頂き
週報の内容充実を行う試み「めんぼう(綿棒)」をスタートしま
した。第一回の投稿者は、言い出しっぺの会報委員長の小杉
(眞)会員です。